

市民活動状況

市内NPO法人数	31	団体
当センター登録団体数	125	団体
当センター登録会員数	6,675	人
4月来館者数	1,724	人
4月印刷機利用枚数	37,631	枚

H29年6月現在

ひびき

発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之



龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や大会議室・
 小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <http://r-shimin.sakura.ne.jp/>

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」 その54

新しい公共の進め方「地域円卓会議」を立ち上げます。

少子高齢化がさらに進む中で、行政は予算も人員も減少が進み市民の要望にすべて応えることは困難と考えるのが支配的です。これからの市民はサービスを利用するだけでなく、維持改善のための知恵を出し、公共に参加することが求められています。

市町村単位で運営されている市民活動センターが市民と行政の協働が円滑に進められるようサポートを役わる中間組織として位置づけられています。ふるさと龍ヶ崎戦略プランで「市民活動日本一」を掲げそのサポートを任務とする市民活動センターがこれから進む道はオール龍ヶ崎体制の構築です。地域資源(団体)は110超、会員総数約6,500名の現場活動。これらの実際をどのように捉え、議会や市役所に届け、活力のある動力車として発車する時期を迎えています。

市民活動センターは以下の内容で「地域円卓会議」を立ち上げ、実行に入る計画です。

①課題解決型の円卓会議

周辺組織との連携・調査研究活動の実現に関する活動

②多様なメンバーによる協働の創造を創り出す円卓会議

市民有志による「市民活動日本一」を目指す活動

活動の詳細については今後、順次ご報告させていただきます。



「ゆったりカフェ龍の会」が活動を開始しました

思わぬことでご主人を亡くした南部節子さんが市民活動センターで家族の会を立ち上げました。

悲しみを共有する会で奇数月の最終土曜日に支え合うものです。

大切な人を亡くした寂しさ。誰にも解ってもらえない辛さ。分かち合いの会は、ありのままを、お茶をいただきながら語り合い、支え合う居場所です。

活動の詳細については市民活動センターホームページで紹介しています。仲間を募集しています。



健康セミナーで「ツムラ漢方記念館および実験薬草園」の見学をしました

「ツムラ漢方記念館」は医学関係者と公的機関限定の見学施設で、説明スタッフも医学博士等で専門的かつ具体的。

「学びの楽しさ」を満喫しました。

漢方医学は奈良時代に中国から伝来、江戸時代に生薬の開発により大衆化した日本固有の研究によるもの。

近年は病院でも漢方薬の投与が普及しているとのこと・・・

参加者と豊かな一日を体験しました。



龍ヶ崎短歌会

新緑の坂道帰る園児等の後姿に元氣もらいぬ
指導者の声に合わせてイチ、ニツ、サン…励むリハビリ関節の泣く

杉岡 成
白上 靖夫

「若柴宿、歩く歴史講座」開催

くじ神社、星宮神社、金龍寺など、若柴の名所を巡った歩く歴史講座でした。



星宮神社

案内人の芳川 普氏は歴史民俗博物館の協力を得て、自費で看板等を製作し、見学者に広報活動している方で、説明が奥深く、歴史を存分に楽しんだウォーキングの集いでした。特に今回は普段立ち入る事の出来ない旧家、高野家邸宅と、飯野家邸宅に入れたことは今までないイベントとなり、参加者の皆様には満足された歴史散歩だったと思います。

次回は11月19日（日）です。

お楽しみに！